

平成30年度 岡山県・全国学力・学習状況調査の結果と今後の取組について

学校全体の傾向としては、どの学年も落ち着いた学習環境で学習しているので、基礎学力が定着してきている。また、自己肯定感や自己有用感も育ってきているという結果が出てきている。

【岡山県学力調査の結果】

- どの学年も昨年度より伸びている。(経年比較により)
- 言語についての知識・理解・技能は良い。
漢字の読み書き、文の構成(主・述語)、ローマ字、国語辞典の使い方等はよく身につけている。
- 計算はよくできている。
- ▲物語文や説明文の読み取りに課題がある。
- ▲筋道立てて説明したり書いたりすることが苦手である。
- ▲長文の問題から情報を読み取ることが苦手である。

【全国学力調査の結果】

- 昨年の4月から比較すると大きく学力の向上が見られる。
- 国語も算数も基礎問題はよくできていた。特に算数は全国平均を大きく上回っていた。
- ▲国語も算数も活用力には課題がある。複数の文や文章を関連づけて読むことが苦手である。
- ▲長文を読むことに抵抗がある。
- ▲筋道立てて説明したり、書いたりすることが苦手である。

【岡山県・全国の学習状況調査の結果】

- 「自分にはよいところがある。」「将来の夢や目標をもっている。」の割合が高く自分は周りの人から認められていると感じている児童が多くなった。
- ▲「課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた。」に対して肯定的な回答が全国平均より低い。また、「学習では答えの理由は分からなくても問題のやり方を覚えれば良い。」「学習では、やり方が間違っても答えが合っていれば良い。」「学習ではテストの点数をとれることが一番大事。」と考える児童が6割もいる。



【今後の学校での取組】

- ・考える楽しさを感じさせたり、「解決したい」という意欲をもって課題解決したりする授業づくりに努めます。
- ・筋道を立てて説明したり書いたりする力を授業の中で育てていきます。
- ・新聞を活用して、記事の内容を読み取ったり、考えをまとめたりする活動を朝学習で行います。
- ・朝学習などで文章の読み取り問題に力を入れていきます。
- ・今まで同様に「認める」声かけをしっかりとっていきます。

【ご家庭で協力していただきたいこと】

- ・子どもたちが「自分は認められている」、「将来の夢や目標をもっている」と回答した児童が昨年より増えてきたのは、ご家庭でお子さんとしっかり話をしてくださっているおかげではないかと思えます。引き続きよろしくお願ひします。
- ・ご家庭でも読書を勧めていただきたいと思ひます。
例えば：ノーテレビデーをつくって親子で読書をする。
：読み聞かせをする。
：新聞の記事を紹介する。など
- ・テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていなかった児童が3割いました。昨年より、割合は少なくなりましたが、ルールづくりは大切です。親子で相談して決めましょう。

北川小学校の子どもたちの
健やかな成長のために、
みんなで力を合わせて
がんばりましょう！

